

求人件名	旭川工業高等専門学校 機械システム工学科 教員公募
機関名	旭川工業高等専門学校
機関URL	http://www.asahikawa-nct.ac.jp/information/index1.html
部署名	機械システム工学科
求人内容	<p>[機関の説明（募集の背景、機関の詳細、プロジェクトの説明等）]</p> <p>本校は中学校卒業者を対象とした5年制の国立高等教育機関で、その上に2年制の専攻科を設置しています。そのため、教育・研究を行うだけでなく、クラス担任、クラブ活動指導、学生寮での宿日直、社会貢献等も行います。</p> <p>[仕事内容]</p> <p>所 属 : 機械システム工学科</p> <p>専門分野 : 熱工学に関する分野</p> <p>担当予定業務 : (1) 機械システム工学科の専門科目授業 熱力学Ⅰ・Ⅱ, 熱エネルギー工学Ⅰ・Ⅱ, 機械システム工学実験Ⅰ・Ⅱ, 卒業研究等</p> <p>(2) 本校専攻科の授業 エネルギー工学特論, 特別研究等</p> <p>(3) その他（別紙「旭川高専の教員が携わる校務内容の概要」参照）</p> <p>[勤務地住所]</p> <p>北海道旭川市春光台2条2丁目1番6号</p> <p>[募集人員]</p> <p>准教授 1名</p> <p>[着任時期]</p> <p>平成30年4月1日</p>
勤務形態	常勤（任期なし）
応募資格	<p>(1) 博士の学位を有する方, 又は着任時までに取得見込みの方</p> <p>(2) 上記専門分野の講義, 実験指導等を担当できる方</p> <p>(3) プロジェクト型教育及びものづくり実践教育に自主的に取り組める方</p> <p>(4) 高等専門学校での教育・研究, 学生指導（クラス担任, 部活動顧問, 学生寮宿日直等）に熱意と協調性をもって行える方</p> <p>(5) 学協会等で活動され, 地域連携に意欲的に取り組める方</p>
募集期間	平成29年12月15日（金） 17時必着
応募・選考・結果通知・連絡先	<p>[応募書類]</p> <p>(1) 履歴書（別紙様式1）</p> <p>(2) 研究業績一覧（別紙様式2）</p> <p>(3) 主要著書・論文の別刷（(2)に掲げるもののうち5編以内, 複製可）</p> <p>(4) 研究・開発等の履歴一覧及び研究・開発の概要（別紙様式3）</p> <p>(5) 教育業績一覧（別紙様式4）</p> <p>(6) 高専教育に対する抱負（別紙様式5）</p> <p>(7) 推薦状1通, または応募者について照会可能な者2名の氏名・所属・連絡先</p> <p>(8) その他（審査に役立つと思われるもの）</p>

※応募に必要な様式については、本校のウェブページからダウンロードしてご利用ください。

<http://www.asahikawa-nct.ac.jp/information/index1.html>

[応募書類送付先]

〒071-8142 旭川市春光台2条2丁目1番6号

旭川工業高等専門学校 総務課人事・労務係

(簡易書留、封筒の表に「機械システム工学科(熱工学) 教員応募書類」と朱書のこと。

応募書類は返却しませんので、予めご承知おきください。)

[選考内容]

第一次選考 書類審査

第二次選考 一次選考合格者に対して面接審査(模擬授業を実施します。)

面接予定日：平成30年1月9日(火)

[問い合わせ先]

旭川工業高等専門学校 機械システム工学科 教授 石井 悟

Tel: 0166-55-8001

e-mail: ishii@asahikawa-nct.ac.jp

備考

(1) 本校は、男女共同参画を推進しており、業績(教育業績、研究業績、社会的貢献、人物を含む。)の評価において同等と認められる場合には、女性を優先的に採用します。

(2) 応募者から取得する個人情報は、選考以外の目的には使用致しません。

旭川高専の教員が携わる校務内容の概要

現在、わが国の高等教育機関においては大きな変革の波が押し寄せており、本校もその只中にいて、新たな生まれ変わりを果たすべく全校あげて取り組んでいます。

高専は、その教育目標や学生の年齢層（本科：16～20 歳，専攻科：21～22 歳）の幅広さなどから、大学や高等学校とは本質的に異なる点があります。高専の教員は、教育、研究、学生の生活指導などの全てに対して情熱を持って積極的に努力する姿勢が求められます。ここでは、旭川高専教員の校務について、認識をさらに深めていただくために、その主なものを記します。

（１） 授業

教員は、本科における講義、実験実習や卒業研究指導、及び専攻科の講義や実験実習などを行います。その他、定期試験や成績不振学生に対する特別指導も行います。また、教員相互に行う授業観察などを通して、教育方法の改善に継続的に取り組むことが求められています。

（２） 卒業研究・特別研究指導

卒業研究は、本科における教育の集大成として非常に重要な役割を持ち、また、教員と学生の密接なつながりの中で成り立つ科目で、よりいっそう教員の指導力が要求されます。また、専攻科学生を担当し特別研究指導も行います。さらに、研究成果をベースに学位授与機構への申請手続きなども、担当教員が指導します。

（３） 研究

高専の教員は、教育面や学校運営への参画のみならず、研究面での業績も求められます。研究に対する意欲的な姿勢と成果が学校全体の教育研究面の活性化を促し、さらには地域社会への貢献につながるものが期待されています。

（４） 学級担任

教員は学級担任を担当することもあります。学級担任は、一学級40人程度の学生への勉学や生活指導など、学生生活全般にわたるきめ細かな指導が強く求められます。例えば、高等学校と同様に、教室清掃の指導がありますし、体育祭や高専祭など各種行事での指導、学生への個人面接や保護者との懇談なども重要な職務となっています。また、4年生については見学旅行の引率指導、5年生については就職・進学の見学指導も行います。

（５） 各種委員会・会議

本校には、教務委員会、学生委員会、寮務委員会等の各種委員会があります。学級担任との兼務あるいは複数の委員会に所属することもあります。委員会に所属した場合には、多岐にわたる仕事をこなすことが求められます。その他、定期的に学科会議や教員会議等が行われます。情報交換や学校運営に対する意見の集約等を行う重要なものとなっています。

（６） クラブ顧問

クラブ顧問としての日常的な指導をはじめ、運動系の場合には、高専体育大会（地区大会・全国大会）の運営や高体連などの各種大会および練習試合の引率、合宿時の指導などがあります。

（７） 学生寮の宿日直

本校では、学生寮の宿直と日直（日直は土・日・祝日のみ）が割り当てられます。女子寮も設置されており女性教員による日直もあります。男女寮生を指導するこの職務は、本校教員の重要な教育業務の一つです。

（８） 社会貢献

本校では、共同研究、受託研究、公開講座、出前講座など様々な形で地域連携活動を展開しています。地域社会からも様々な形で本校に対する要望が寄せられます。地域連携活動が学生教育へ及ぼす効果に加え、地域に根ざした高専としての存在価値を高めるためにも、高専教員には積極的に地域社会に対して貢献する姿勢が要求されます。